

製品名: PDE10A ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab15883**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300,ELISA 1:2000-1:20000
分子量	75kDa

抗原情報

遺伝子名	PDE10A
別名	PDE10A; cAMP and cAMP-inhibited cGMP 3'; 5'-cyclic phosphodiesterase 10A
遺伝子 ID	10846.0
SwissProt ID	Q9Y233
免疫原	抗血清はヒト PDE10A 由来の合成ペプチドに対して作製された。AA 範囲: 21-70

背景

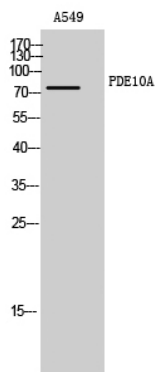
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、環状ヌクレオチドホスホジエステラーゼファミリーに属します。細胞内環状ヌクレオチド濃度を調節することにより、シグナル伝達において役割を果たします。このタンパク質は cAMP と cGMP の両方を対応するヌ

クレオシド 5'-リン酸に加水分解しますが、cAMP に対する親和性が高く、cAMP を基質とした場合の方がより効率的です。この遺伝子には、選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが報告されています。 [RefSeq 提供、2011 年 12 月], 代替製品: アイソフォームは N 末端領域が異なります, 触媒活性: グアノシン 3',5'-環状リン酸 + H(2)O = グアノシン 5'-リン酸, 触媒活性: ヌクレオシド 3',5'-環状リン酸 + H(2)O = ヌクレオシド 5'-リン酸, 補因子: マグネシウムイオン 1 個と結合します。 , 補因子: 亜鉛イオン 1 個と結合します。 , ドメイン: 2 つの二価金属部位を含む C 末端触媒ドメインと、1 つの環状ヌクレオチド結合領域を含む N 末端調節ドメインで構成されています。 , ドメイン: タンデム GAF ドメインは cAMP に結合し、酵素活性を調節します。 cAMP の結合は酵素活性を刺激します。 , 酵素調節: ジピリダモールによって阻害され、IBMX によって中程度に阻害されます。 cAMP はアロステリック活性化因子として作用する。 , 機能: 細胞内環状ヌクレオチド濃度を調節することにより、シグナル伝達において役割を果たす。 cAMP と cGMP の両方を加水分解することができるが、cAMP に対する親和性が高く、cAMP を基質として用いる方が効率的である。 , 経路: プリン代謝; cAMP 分解; cAMP から AMP: ステップ 1/1。 , 経路: プリン代謝; cGMP 分解; cGMP から GMP: ステップ 1/1。 , 類似性: 環状ヌクレオチドホスホジエステラーゼファミリーに属する。 , 類似性: 2 つの GAF ドメインを含む。 , 細胞内局在: 主に可溶性細胞分画に局在する。 , サブユニット: ホモ二量体。 , 組織特異性: 脳と精巣の被殻と尾状核領域に豊富に存在し、甲状腺、下垂体、視床、小脳にも中程度に発現する。 ,

研究分野

プリン代謝;

画像データ



PDE10A ポリクローナル抗体を用いた A549 細胞のウェスタンブロット解析